

ウトロゲスタン腔用カプセル 200mg

【この薬は？】

販売名	ウトロゲスタン腔用カプセル 200mg UTROGESTAN vaginal capsules 200mg
一般名	プロゲステロン Progesterone
含有量 (1 カプセル中)	200mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」
<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、黄体ホルモン剤と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、生殖補助医療における黄体ホルモンの補充に用います。子宮内膜に作用して受精卵が着床しやすくし、妊娠を維持します。
- ・次の目的で処方されます。

生殖補助医療における黄体補充

- ・この薬は、妊娠を希望する女性が使用します。
- ・この薬は、自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると本来の効果が得られません。また、使用を中止すると不安や気分の変化などがあらわれることがあります。指示どおりに使用することが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・過去にウトロゲスタン腔用カプセルに含まれる成分で過敏症のあった人
- ・診断がついていない性器出血のある人
- ・稽留（けいりゅう）流産*¹ または子宮外妊娠の人
 - * 1：稽留（けいりゅう）流産：胎児が子宮内で死亡し、子宮内に停滞しているが、母体に自覚症状がない状態。
- ・肝臓に重度の障害がある人
- ・乳がんまたは生殖器がんの疑いがある人、または過去にこれらの病気になったことがある人
- ・血栓塞栓症や重度の血栓性静脈炎のある人、または過去にこれらの病気になったことがある人
- ・ポルフィリン症の人

○次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。

- ・肝臓に障害がある人
- ・てんかん、うつ病がある人、または過去にこれらの病気になったことがある人
- ・片頭痛、喘息がある人、または過去にこれらの病気になったことがある人
- ・心臓または腎臓に障害がある人
- ・糖尿病がある人
- ・授乳中の人

○この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

使用する量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

1 回量	1 カプセル
使用回数	1 日 3 回
使用する時期	胚移植* ² 2 日～7 日前より腔に挿入します。 妊娠が確認できた場合、移植後 9 週（妊娠 11 週） まで継続されます。

* 2：胚移植：生殖補助医療により得られた胚を、子宮に移植する方法。

●どのように使用するか？

この薬は腔に挿入して使用します。決して飲まないでください。

●使用し忘れた場合の対応

決して 2 回分を一度に使用しないでください。

気がついた時に、1 回分を使用してください。ただし、次の使用時間が近い場合は 1 回とばして、次の時間に 1 回分使用してください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

異常を感じたら、医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・うつ病または過去にうつ病になったことのある人は、症状が悪化することがあります。うつ症状が悪化した場合は医師に相談してください。
- ・この薬を中止すると、不安や気分の変化などがあらわれることがあります。医師から使用をやめるよう指示があり中止した際は、不安や気分の変化などに気を付けてください。
- ・眠気やめまいがあらわれることがあるので、自動車の運転など危険を伴う機械の操作には気を付けてください。
- ・授乳している人は医師に相談してください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を使用していることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意いただきたい重大な副作用と、主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。

このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
血栓症 けっせんしょう	ふくらはぎの痛み・腫れ、手足のしびれ、鋭い胸の痛み、突然の息切れ、押しつぶされるような胸の痛み、激しい頭痛、脱力、まひ、めまい、失神、目のかすみ、舌のもつれ、しゃべりにくい

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用の表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	脱力、まひ
頭部	激しい頭痛、めまい、失神
眼	目のかすみ
口や喉	舌のもつれ、しゃべりにくい
胸部	鋭い胸の痛み、突然の息切れ、押しつぶされるような胸の痛み
手・足	ふくらはぎの痛み・腫れ、手足のしびれ

【この薬の形は？】

PTP シート	 表面 裏面
形状	 軟カプセル
長径	14.5mm
短径	8.6mm
重さ	720mg
色	カプセル本体：淡黄色 内容物：白色
識別コード (PTP シート)	FJ69

【この薬に含まれているのは？】

有効成分	プロゲステロン
添加剤	ヒマワリ油、大豆レシチン (カプセル本体) ゼラチン、濃グリセリン、酸化チタン

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・PTPシートのまま付属のアルミチャック袋に入れて保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：富士製薬工業株式会社 (<https://www.fujipharma.jp/>)

くすり相談室

電話番号：0120-956-792

受付時間：9 時～17 時

（土、日、祝日、その他当社の休業日を除く）

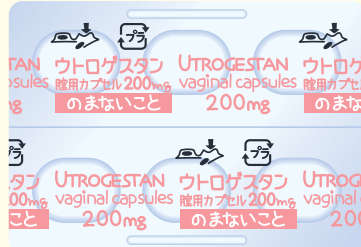
ウトロゲスタン[®] 腔用カプセル200mg の使用方法

お薬の取り出し方

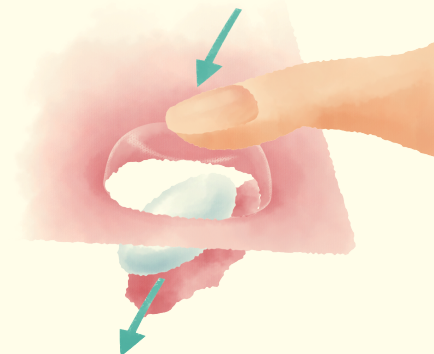
表面



裏面



PTPシート図



お薬の入れ方の姿勢

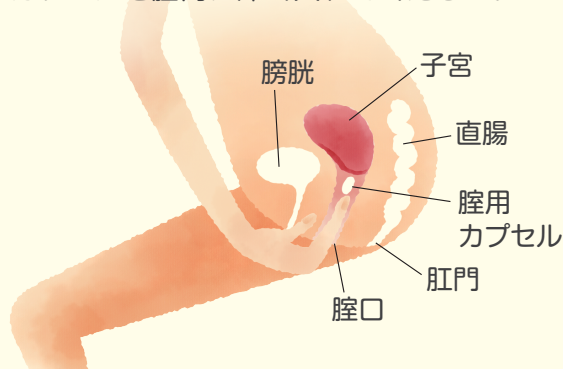
- ①座位 (座った状態) ②立位 (立った状態) ③仰向け



体の力を抜いて①座位②立位
③仰向け等から楽に入れる事
のできる姿勢を選び、膝を曲
げた状態で入れてください。

お薬の入れ方 (挿入方法)

カプセルを腔内に深く入れてください。



使用上の注意

- ① このお薬は腔内に挿入するお薬ですので、飲まないでください。
- ② 挿入前には手指をきれいに洗ってください。
- ③ このお薬は腔内で自然に溶け出すため、お薬で下着を汚すこともありますのでパッドを当てても結構です。
- ④ 挿入後は手指をきれいに洗ってください。

保管時の注意

- ① 光と湿気を避けて室温(1~30℃)で保管してください。
- ② PTPシートのまま付属のアルミチャック袋に入れて保管してください。
- ③ 子供の手の届かないところに保管してください。



®:登録商標 (BESINS HEALTHCARE LUXEMBOURG S.A.R.L. 所有)
Imported and distributed by FUJI PHARMA CO., LTD.,
Licensed by BESINS HEALTHCARE LUXEMBOURG S.A.R.L., Manufactured in Thailand